



初等部だより 11月号

鎌倉女子大学初等部

平成27年10月30日
第8号

実りの秋！「みどり祭」の秋

部長 松本 安博

秋ほどいろいろな言葉で、言い表される季節はないように思います。実りの秋に収穫の秋、芸術の秋に読書の秋、勉学の秋にスポーツの秋などがすぐに思い浮かびます。そして、初等部には、忘れてはならないもう一つの秋があります。それは、「みどり祭」の秋です。

保護者の皆様のお手元に、第21回「みどり祭」のパンフレットやそれに関わってのお知らせが既に届いていることと思います。今年度より各部がそれぞれの独自色を打ち出していきたいとの願いから、中等部・高等部とは別開催となり、幼稚部と初等部2部による合同「みどり祭」となりました。

初等部では、国語科を超えた国語力（言語力）をはぐくむ授業、自主自発性と創造性をはぐくむ授業を柱に伝え合いと認め合いの学習に力を注いできていますが、今年もその成果を展示作品や発表を通して、ご来場の皆様にご覧いただきたいと思っております。そして、子どもたち一人ひとりの創意や豊かな感性が、展示作品の色や形、思いや願いのこもった文字や言葉となって、皆様の心に届くことを願っています。

以下は、各学年の展示作品のいくつかを紹介を兼ねて、そのテーマ名から内容を推測してみたものです。本当のところはどうなのか、「みどり祭」当日を楽しみにしていただきたいと思っております。

【第1学年】

(算数科)「たしざんとひきざんの問題作り」。
さて、どのような問題を作ったのでしょうか。素晴らしい作問力を期待したいと思います。

(図工科)「お菓子コンテスト」。和菓子でしょうか。洋菓子もあるのでしょうか。本物のと見間違えるようなお菓子があるかもしれませんね。

【第2学年】

(国語科)「あったらいいな、こんなもの」。
ドラえもんを思い出すテーマですね。食べたらいつでもドラえもんに出会える「ドラえもんどら焼き」なんかあるといいですね。

(生活科)「おいもまるごと」。畑で栽培した美味しいおいもが、まるごと何かに変身しているのでしょうか。

【第3学年】

(社会科)「昔の暮らし」。宿泊体験学習で訪れた民家園で見聞してきたことをもとに、昔の何かを再現するのもかもしれませんね。(総合的な学習の時間)「手話」。手話を学び、人との出会いをさらに豊かにできるとよいですね。手話を教えてくれる人がいてくれるといいですね。

【第4学年】

(理科)「初等部の気温の変化」。データから、なにかきまりの発見や気付きがあるかもしれませんね。算数科の学習とも関係しているようです。

(算数)「カラフル四角形」。ひし形や平行四辺形などの四角形で、美しいデザインが描かれているのでしょうか。

【第5学年】

(国語科)「POP」。どのような本を紹介してくれるのでしょうか。読みたくなる本と出会えるといいですね。

(家庭科)「MYランチョンマット」。一人ひとり思い思いのランチョンマットを敷いての食事、美味しいでしょうね。

【第6学年】

(図工科)「未来に生きる僕、わたし」。一人ひとりの夢と希望に満ちた未来が見えてくるようです。

(国語科)「俳句」。芭蕉や蕪村、一茶を超える俳句に出会えるかもしれません。季語も楽しみにしたいですね。

この他、クラブ活動の紹介や自由研究コーナー、礼法コーナー、保護者の皆様や職員の作品展示コーナーもあります。

また、昨年より実施しました「芸術鑑賞会」を今年も行います。劇団のご好意もあり、保護者をはじめ、ご来校者の皆様にもご鑑賞いただけます。鑑賞の仕方や入退場についてご協力をいただくこともありますが、みんなで影絵劇「星の王子様」を楽しみたいと思っております。(鑑賞ご希望の方は、11/8(日)午前9時50分～午前10時までに受付をお済ませください。)

秋の休日、ご多用のところとは存じますが、是非ともご家族でお出かけください。お待ちしております。